



フアイトつちー

# 桜区避難場所特集号

## ⚠️ 避難場所特集号を発行するにあたって ⚠️

土合地区においては、小中学校、県立高校及び埼玉大学の11か所（暫定2か所）が災害時の避難場所として指定されております。昨年行なわれた高齢者の実態調査において「台風や地震などの災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか？」の質問に対して「いいえ」の回答が多く見られました。また、各自治会の掲示板には避難場所が表示されていますが、日頃注意して見ることが少ないと思われる。

今回特集として、それぞれの避難場所と同時に給水施設について表示した地図を保存版として次頁に掲載いたしました。避難場所ごとに色分けし、そこに避難する自治会名を表示いたしました。ただし基本的にはどこの避難場所に避難されても受け入れてもらえることになっています。災害に備え、地図を身近に置いて頂きお役立ていただければと企画いたしました。

田島中避難場所運営委員会は田島地区の7自治会、54名で構成され、6月には自主的に避難訓練を実施しています。特に災害弱者の救済を重点的に地域全体で連携しての減災を目標に委員全員いちがんと取り組んでいるところです。



さいたま市に「震度6強の地震発生」との想定で、桜区災害対策本部設置、区内全避難場所を一斉開設。という大規模訓練が9月27日と10月11日に分けて行われました。HUGとDIGによる図上訓練ではありましたが、避難場所での「避難者受入れなどの対応訓練」、運営委員会の「災害時の対応訓練」、さらには災害対策本部との「連携強化」など緊張感あふれる半日でした。

**桜区避難場所一斉開設訓練**  
田島中避難場所運営委員会の活動

## 赤い羽根共同募金活動 ~寄付する人も、募る人もボランティア~

### 赤い羽根共同募金活動に土合連合高年会も協力

10月1日から始まった「赤い羽根共同募金」ですが、埼玉県では今年度から実施期間を6か月に拡大しました。今回、土合連合高年会の皆さまにも街頭募金ボランティアとしてご協力いただきました。

共同募金は各地域でその使い道や目標額を事前に定めて募金を募る「計画募金」です。毎年度、共同募金会が、支援を必要とする福祉施設や団体等から申請を受け付け、その内容を審査・検討し、配分計画を立て目標金額を定めます。（土合地区社協でも車いすの助成を申請）

住民による募金が自分のまちを良くすることにつながり、地域で支えあうしくみになっています。

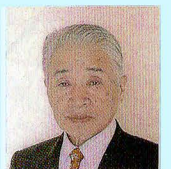


私たちが土合連合高年会は、十月十日に『赤い羽根共同募金』活動を単位老人クラブ会長をはじめとする有志の方々と中浦和駅・西浦和駅の二箇所で行いました。

始めのうちは「ご協力お願いします」の声が小さかったのですが、時間が経つにつれ大きな声が出るようになり、ご協力頂いた多くの皆様方に感謝いたします。

土合連合高年会は、今七六二名の会員ですが「健康・友愛・奉仕」をモットーに諸活動に取り組み、今後も微力ながら地域社会に貢献していく所存です。

皆様方の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



土合連合高年会  
会長 岡崎憲次